

平成29年度第1回技術講習会



委員長あいさつ



講義始まる

会員企業の職員にも高齢化が進み、経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員がいずれ職を去り、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、会員の技術力の向上を図るため、基礎知識・技術から最先端技術までニーズに即した講習会を計画的に開催しています。

本年度も（一社）日本電設工業協会（以下「日電協」という。）の人材育成事業補助メニューの活用及び協会賛助会員との連携講習の2コースを計画しており、第1回目は、日電協メニューを活用し「新人教育－電気設備」をテーマとして開催しました。

講習会は平成29年8月24日（木）午後1時30分から4時30分まで神戸市教育会館で開催し、講師は日電協から派遣された㈱きんでん技術本部技術統轄部課長北野勝也氏及び同社神戸支店品質保証チームリーダー次長塩井大祐氏にお願いしました。

講習は、日電協発行の『新人教育－電気設備』をテキストとして使用し、電気設備概論など17の項目に分けて進められました。

講義は、電気設備概論から始まり、建築電気設備の設計と基本、配線工事の基本、電気工事の施工、材料と工具についての説明の後、受変電設備、発電設備、電力蓄蔵設備、新エネルギーを利用した電源システム、幹線設備、電力設備、照明設備、監視抑制設備、情報通信、防災設備、雷保護システム、構内配線までの盛りだくさんな内容でした。

会員企業から参加のあった41名の受講者にとって、技術者の業務の基礎となる設計、積算、施工に関する基本的な知識や業務に必要な法令などについて、幅広く学べる機会となりました。



講義の様子